

＝設置に関する注意書＝

ポスター掲示場は、街の美観をすること、すべての候補者のポスターを同一掲示することにより選挙人に便宜を図ることを狙いとして設けられた制度である。

よって、設置にあたっては、次の点に特に留意し設置にあたること。

- 1 選挙管理委員会事務局（以下「事務局」という。）より配布された設置場所の地図等の資料に基づき、施工期日までに現場確認調査を実施すること。
- 2 現場確認調査に基づき、設置順路、作業順序等の把握、必要部材の手配確保等を完了しておくこと。
- 3 ポスター掲示場設置前に掲示場の土地所有者の自宅へ訪問し、市が受注者へ提供する謝礼品を渡すこと。不在等で渡せない場合、撤去前に再度訪問して渡すこと。（複数回訪問しても会えない場合には、市に報告した上で渡し方について協議するものとする。）
- 4 現場調査時に疑義や施工上障害となる事態が生じた場合は、直ちに事務局担当者に連絡し、その指示に従い設置当日までに問題解決しておくこと。
- 5 設置作業において特に次の点に注意して作業を行うこと。
 - (1) 近隣の迷惑にならないよう午前８時以前、午後７時以降の作業は行わないこと。
 - (2) 設置工事の際、所有者が隣接している場合は、声を掛けること。
 - (3) 設置作業においてフェンス、ブロック塀、植木等に傷をつけないように注意すること。
 - (4) 設置後取付に使用した金具、番線等は鋭利な状態のままで放置せず、必ず布等をして保護すると共に、金具及び留金のはみ出しがないよう確実に固定、巻き込み処理を行うこと。
 - (5) 安全面の観点から支柱は掲示板の両端に固定し掲示板本体の左右が支柱

よりはみ出さないこと。

また支柱は、掲示板の上部より必要以上に突き出ないこと。

- (6) 近隣の美観を損なわないように掲示板の傾き、たわみ等が生じないようにすること。
- (7) 掲示板本体の最低地上高は 80 c m 以上、最高地上高は 220 c m 以内とする。

ただし、現場の設置状況により規定内に収めることができない場合には、この限りではないが、できる限り規定内に近づけ設置すること。

- (8) 固定・鉄柵共に掲示板上部より目に余る支柱の突起は切り取ること。
- (9) 設置方法別注意点

ア 野建（自立型）

木杭の使用本数は、規定数量を下回ることのないように使用し、現場の状況により十分な強度を得られるよう必要に応じて増量し打ち込みは十分な深さをとること。

また、木杭を打ち込むときには、水道管等の埋設物を破損することがないように細心の注意を払うこと。

掲示板の固定については、番線、釘等にぐらつき、傾斜が生じないように確実に固定すること。

使用した番線の巻き込みや釘の打ち込みは完全に処理する等安全面に特に注意すること。

支柱と掲示板の固定については、釘等の使用数、長さ等十分な強度を確保すると共に、支柱先端が掲示板より突き出ないこと。

また、支柱は掲示板の両端に固定し掲示板本体の左右が支柱よりはみ出さないこと。

イ ブロック塀

固定金具については、個々のブロック塀の厚みに対応できるよう工夫をし、がたつきや傾斜が生じないようにすること。

ウ フェンス

固定する際には、フェンスの強度を考慮して施工にあたること。

エ その他

背の低いフェンスや柵等強度に問題があると思われるときには、必要に応じて控えを取るなどして補強すること。

- 6 各ポスター掲示場設置時に表題部指定の枠内に「ポスター掲示場設置場所図面」に表示された投票区番号及び一連番号を記入すること。

記入は、手書きでも良いが油性インクを使用し、雨天時に施工する場合には、にじみやボケが生じないように配慮すること。

- 7 設置完了時の事務局による立ち会いは特に実施しないが、設置期間中不良個所が確認された場合には、移動、補強等の措置を講ずるのでその体制を整えておくこと。

- 8 撤去に当たっては、設置作業同様フェンス、ブロック塀、植木等に傷をつけないことは勿論、使用した部材（材木、番線、金具等）を現場に放置しないよう注意し確実に原状回復すること。

- 9 撤去後のポスター掲示板は、再生処理業者に速やかに引き取らせること。

- 10 一連の作業上、設置場所の所有者や管理者に迷惑をかけることがないようにすること。

万一迷惑をかけるようなことが生じた場合には、誠意をもって対応すること。

- 11 設置及び撤去の際はカラーコーンを設置するなど歩行者等の安全を確保すること。

- 12 野建（自立型）で施工した場合、撤去後は木杭の穴が残らないよう埋めること。

- 13 次に掲げる報告書を提出すること。

- (1) 設置完了報告書（設置完了後直ちに）
- (2) 撤去完了報告書（撤去完了後直ちに）
- (3) 再生樹脂ボード使用の場合は、エコマーク認定規格品である旨を証する書類を添付すること。